|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **題材系統表** | | 題材は，五つの分野で構成され，活動のねらい，発想のきっかけ，使用する材料や用具などを考慮し，発達の段階とともに学びを深めることができるよう，系統的に配列されています。 | | | | |
|  |  | |  |  | １・２上 | １・２下 |
| **A**  **表**  **現** | 【造】造形遊びをする | | 材料や場所を基にして活動する | 材料を基にして | ・カラフル いろみず（p.28-29）  ・いっぱい つかって なに しよう　（p.38-39） | ・ひかりの プレゼント（p.10-11）  ・しんぶんしと なかよし（p.18-19）  ・だんボールに 入って みると！？　（p.44-45） |
| 場所・環境を生かして |  |  |
| 体全体を働かせながら活動する | | ・すなや つちと なかよし（p.14-15）  ・ぺったん コロコロ（p.24-25）  ・ならべて ならべて（p.48-49） | ・つないで つるして（p.32-33） |
| 【絵】絵に表す | | 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す | | ・かきたい もの なあに（p.10-11）  ・やぶいた かたちから うまれたよ　（p.16-17）  ・いろいろな かたちの かみから　　（p.30-31） | ・とろとろえのぐで かく（p.22-23）  ・はさみの あーと（p.36-37）  ・ざいりょうから ひらめき　　　　（p.46-47） |
| 感じたこと，想像したこと，見たことから表す | 日常生活でかきためたことから表す |  | ・おはなみ スケッチ（p.8-9） |
| 生活経験から表す | ・みて みて あのね（p.20-21） | ・たのしかったよ ドキドキしたよ　（p.26-27） |
| 想像したことから表す | ・のって みたいな いきたいな　　　（p.46-47） | ・ふしぎな たまご（p.16-17） |
| 物語などから感じたこと，想像したことから表す | ・おはなしから うまれたよ　　　　（p.34-35） | ・ことばの かたち（p.40-41） |
| 版に表す | | ・うつした かたちから（p.58-59） | ・たのしく うつして（p.52-53） |
| 【立】立体に表す | | 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す | 粘土で | ・ひもひも ねんど（p.18-19） | ・にぎにぎ ねん土（p.12-13） |
| 様々な材料で | ・はこで つくったよ（p.44-45） | ・くしゃくしゃ ぎゅっ（p.20-21） |
| 感じたこと，想像したこと，見たことから表す | 粘土で | ・ごちそう パーティー はじめよう！（p.26-27）  ・いっしょに おさんぽ（p.54-55） | ・おもいでを かたちに（p.38-39） |
| 様々な材料で |  | ・ともだち ハウス（p.50-51） |
| 【工】工作に表す | | 飾るもの・使えるものをつくる | | ・ちょきちょき かざり（p.12-13）  ・ひらひら ゆれて（p.32-33）  ・かざって なに いれよう（p.40-41） | ・わっかで へんしん（p.14-15） |
| 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる | | ・おって たてたら（p.22-23）  ・かみざら コロコロ（p.50-51）  ・にょきにょき とびだせ（p.56-57） | ・まどから こんにちは（p.24-25）  ・音づくり フレンズ（p.30-31）  ・わくわく おはなしゲーム　　　　（p.42-43）  ・パタパタ ストロー（p.48-49） |
| 伝え合うものをつくる | |  |  |
| **B**  **鑑**  **賞** | 【鑑】鑑賞する | | 身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る | | ・でこぼこ はっけん！（p.42-43）  ・すきまちゃんの すきな すきま　　（p.52-53） | ・いろの 見えかた むげん大　　　　（p.28-29）  ・ともだち 見つけた！（p.54-55） |
| 自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る | |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ３・４上 | ３・４下 | ５・６上 | ５・６下 |
| ・ぬのをつないで（p.12-13）  ・ひもひもワールド（p.52-53） | ・光とかげから生まれる形　　　　　（p.38-39） |  |  |
| ・「小さな自分」のお気に入り　　　（p.30-31） | ・ここにいたい（p.10-11）  ・まどをのぞいて（p.46-47） | ・あんなところがこんなところに見えてきた（p.10-11）  ・光と場所のハーモニー（p.44-45） | ・ここから見ると（p.12-13） ・自然を感じるすてきな場所で　　（p.22-23）  ・思い出のあの場所に（p.44-45） |
| ・クミクミックス（p.40-41） | ・ここをつつんだら（p.20-21）  ・つなぐんぐん（p.24-25） |  |  |
| ・絵のぐ＋水＋ふで＝いいかんじ！　（p.8-9）  ・ペタパタひらくと（p.28-29）  ・土でかく（p.48-49） | ・絵の具でゆめもよう（p.8-9）  ・光のさしこむ絵（p.32-33）  ・これでえがくと（p.40-41） | ・でこぼこの絵（p.32-33）  ・消してかく（p.40-41） | ・墨と水から広がる世界（p.10-11）  ・感じて 考えて（p.30-31） |
| ・わたしの6月の絵（p.18-19） |  | ・絵の具スケッチ（p.8-9） |  |
| ・あの日あの時の気もち（p.24-25） | ・わすれられない気持ち（p.26-27） | ・心に残ったあの時 あの場所　　　（p.22-23） | ・わたしの大切な風景（p.24-25） |
| ・ひらいて広がるふしぎなせかい　（p.36-37） | ・まぼろしの花（p.16-17） | ・心のもよう（p.14-15）  ・まだ見ぬ世界（p.26-27） | ・音のする絵（p.20-21） |
| ・ことばから形・色（p.42-43） | ・言葉から形・色（p.44-45） | ・言葉から思いを広げて（p.46-47） | ・言葉から想像を広げて（p.42-43） |
| ・いろいろうつして（p.54-55） | ・ほってすって見つけて（p.54-55） | ・ほり進めて刷り重ねて（p.50-51） | ・版で広がるわたしの思い　　　　（p.50-51） |
| ・切ってかき出しくっつけて　　　　　（p.16-17） | ・立ち上がれ！ ねん土（p.14-15） | ・わたしのいい形（p.48-49） | ・固まった形から（p.28-29） |
| ・カラフルフレンド（p.10-11）  ・くぎうちトントン（p.32-33） | ・ひみつのすみか（p.36-37） | ・糸のこスイスイ（p.20-21）  ・立ち上がれ！ ワイヤーアート　　（p.30-31） | ・光の形（p.14-15） |
| ・ねん土マイタウン（p.46-47） | ・元気のおまもり（p.30-31） | ・のぞいてみると（p.12-13） | ・水の流れのように（p.40-41） |
| ・クリスタルアニマル（p.26-27） | ・ようこそ！ ゆめのまちへ　　　　（p.48-49） | ・ミラクル！ ミラーステージ　　　（p.38-39） | ・未来のわたし（p.48-49） |
| ・空きようきのへんしん（p.38-39） | ・ギコギコ トントン クリエイター　（p.18-19）  ・おもしろだんボールボックス　　（p.28-29） | ・使って楽しい焼き物（p.24-25） | ・おもしろ筆（p.8-9）  ・すてきな明かり（p.26-27）  ・１まいの板から（p.32-33） |
| ・くるくるランド（p.14-15）  ・ふき上がる風にのせて（p.20-21）  ・ゴムゴムパワー（p.44-45）  ・マグネットマジック（p.50-51） | ・コロコロガーレ（p.12-13）  ・ゴー！ ゴー！ ドリームカー　　　（p.50-51） | ・形が動く 絵が動く（p.18-19）  ・わくわくプレイランド（p.42-43） | ・くるくるクランク（p.16-17） |
|  | ・カードでつたえる気持ち　　　　（p.42-43） | ・伝え合いたい思い（p.52-53） | ・ドリーム・プロジェクト　　　　　（p.46-47） |
| ・み近なしぜんの形・色（p.22-23） | ・色合いひびき合い（p.22-23） | ・水から発見 ここきれい！　　　　（p.28-29） |  |
|  | ・ポーズのひみつ（p.52-53） | ・カードを使って（p.16-17） | ・この筆あと，どんな空？　　　　　（p.18-19）  ・わたしの感じる和（p.38-39） |

題材別カリキュラム表は以下の内容で構成されています。

|  |  |
| --- | --- |
| 分野 | 【造】造形遊びをする，【絵】絵に表す，【立】立体に表す，【工】工作に表す，【鑑】鑑賞する，のいずれかで示しています。 |
| 系統 | 分野の中で，さらに細かく系統を示しています。系統に関しては本書p.２-３をご参照いただき，６年間の学びを見通す際などにご参考ください。 |
| ページ | 教科書の掲載ページを示しています。 |
| 配当時間 | 題材を実施するにあたっての参考時数を示しています（１時間＝45分）。この枠に収めなければいけないということではありません。各学校や児童の実態に合わせてご検討ください。 |
| 題材名 | 教科書の題材名を示しています。教科書紙面において複数の展開例を示しているものは，展開例ごとに示しています。  例）１・２上　かきたい もの なあに  ～すきな もの いっぱい～　～おひさま にこにこ～ |
| 題材の目標 | 各題材の目標を，学習指導要領で示されている各学年の目標を踏まえた一文で示しています。  ※各題材での目標を，各学年の目標（１）（２）（３）それぞれに対応する三文で設定することも考えられます。 |
| 育てたい子どもの姿 | 「学びに向かう力，人間性等」の個人内評価とする部分や，日本文教出版株式会社が図画工作の学習で大切にしたいこと（「感じる・ためす・つくりだす」）などを踏まえ，題材を通して育てたい子どもの姿を示しています。  ※「感じる・ためす・つくりだす」については，教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。 |
| 主な学習内容 | 児童の活動を中心として，授業の流れを示しています。 |
| 評価規準の例 | 各観点ごとに「おおむね満足できる」状況（Ｂ）について記載しています。  ・表現の題材においては，鑑賞する学習活動との関連を示すために「思考・判断・表現」のＢ鑑賞に関する評価規準も設定しています。関連して指導する場合にご参考ください。  ・鑑賞する題材では，独立して行うことを前提としているため「知識・技能」における「技能」に関する評価規準，「思考・判断・表現」におけるＡ表現に関する評価規準は設定していません。ただし一部の題材については上記の観点についても示しています。  ・「技能」において示している材料・用具は教科書紙面に基づくものです。実際に使用する材料や用具，中学年以降においては児童の経験を踏まえて，設定してください。  例）５・６上「糸のこスイスイ」  表現方法に応じて電動糸のこぎりや紙やすりを活用するとともに，板材や水彩絵の具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。  ※評価の考え方については，教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。 |
| 主な材料・用具 | 授業で必要な材料や用具を，教師，児童それぞれが準備するものとして示しています。学校や学級の実態に応じて，教師，児童いずれが準備するのかご検討ください。  ここで示していないものであっても，活動をより広げるために用意しておくとよい材料や用具に関しては，教師用指導書「朱書編」でご確認ください。  ※材料・用具の取扱いについては，教師用指導書「材料・用具編」もあわせてご参考ください。 |
| 関連 | 幼児期／中学校といった校種間の関連，他教科等との関連，他の題材との関連などを示しています。  関連は一例であり，他にも多様な関連が考えられますが，校種間接続や，カリキュラムマネジメントの視点からご参考ください。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **絵** | p.８-９　**絵のぐ＋水＋ふで＝いいかんじ！**　　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　　１～４ | | | | | | |
| 目標 | 水彩絵の具で思いのままにかきながら自分の色や形を見付け，いろいろ試して色や形の感じを捉えながら，表し方を工夫して絵に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 自分が「いい感じ」と思う色，形，表し方を見付けてかく楽しさを味わい，自分の思いをもつことに喜びを感じる子ども。 | | | ○水彩絵の具の基本的な使い方を知る。  ○絵の具と水を使っていろいろな色をつくったり，筆の使い方を工夫したりして，表し方を試す。  ○思いのままにかくことや感覚を通して自分の色や形を見付け，表したいことを考える。  ○思いに合わせて表し方を工夫する。  ○自分や友人の表現した色や形のよさや面白さについて話し合う。 | | | 教師：画用紙 など  児童：水彩用具一式 など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 水彩絵の具と水でいろいろな色をつくったり，筆を使ってかいたりするときの感覚や行為を通して，色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 水彩絵の具を適切に扱うとともに，共用の絵の具などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，いろいろな色をつくったり，筆を使ってかいたりして感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで水彩絵の具と水と筆を使って試しながら，思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：個人持ちの水彩絵の具を使用する初めての題材であり，多くの活動と関連する。そのため，十分に試しの時間をとり，用具の特性について分かるようにすることが大切になる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **立** | p.10-11　**カラフルフレンド**　　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で　　３～４ | | | | | | |
| 目標 | いろいろな色の材料や形を組み合わせながら，表したいものを見付け，形や色などの感じを捉えながら工夫して立体に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 材料の組合せや扱いを工夫して，自分がよいと思えるような新しいものをつくることを楽しむ子ども。 | | | ○どの色や材料を組み合わせようか考え，透明な袋に入れていく。  ○袋の組合せ方を試しながら，どのような「友だち」にしようか考える。  ○思いに合わせて材料の使い方などを工夫する。  ○できた友だちを飾りたい場所を探し，デジタルカメラなどで撮影する。  ○作品や飾った様子などを見合いながら，面白さを感じ取る。 | | | 教師・児童：タオル，布，毛糸，ペン など  教師：ビニル袋，お花紙，両面テープ，デジタルカメラ など  児童：はさみ など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| いろいろな色の材料を詰めた袋を組み合わせて，楽しい「友だち」をつくるときの感覚や行為を通して，色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | ビニル袋，両面テープ，ペンなどを適切に扱うとともに，前学年までの描画材などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，いろいろな色の材料や，材料を詰めた袋を組み合わせて感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んでいろいろな色の材料を詰めた袋を組み合わせて，楽しい「友だち」をつくる学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：p.２６－２７「クリスタルアニマル」と同様に，作品をどういった場所に飾るのかを考えることで，活動がより深まる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **造** | p.12-13　**ぬのをつないで**　　材料や場所を基にして活動する／材料を基にして　　２～４ | | | | | | |
| 目標 | 身近な場所で布をつなぐことから活動を思い付き，布のつなぎ方や結び方，組合せ方を工夫して，形や色などの感じを捉えながら，空間をつくったり場所の様子を変えたりすることを楽しむ。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 布と布，布と場所とをつなぐことで身近な場所がより心地よくなることを感じ，身近な場所を自らの力でつくりかえることに関心をもつ子ども。 | | | 〇活動場所を見て回りながらどのようなことができそうか，考えを出し合う。  〇決めた場所で，布をつなぐことから思い付いた活動をする。  〇つくった形や様子を確かめながら，さらに活動を工夫する。  〇つくりかえた場所の様子や感じの変化を味わう。 | | | 教師：いろいろな色の布，ひも，クリップ，洗濯ばさみ など  児童：自宅で集めた不用な布，はさみ など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 身近な場所で布をつなぐときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じが分かっている。 | | 布を適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，組み合わせたり結んだりつないだりするなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，布や布をつなぐ場所などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，布をつないでできた形や場所の様子などの造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで身近な場所で布をつないだり結んだりしながら，思い付いたことを試す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：ページ上前後するが，使用した材料はp.10-11「カラフルフレンド」の中に入れる材料として使用することなども考えられる。また，できた空間のよさを捉える経験が，高学年の造形遊びなどへとつながっていく。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **工** | p.14-15　**くるくるランド**　　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる　　４～６ | | | | | | |
| 目標 | 回る仕組みから表したいことを見付け，形や色などの感じを捉えながら，前学年までの経験を生かして表し方を工夫し、楽しく表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 簡単な仕組みを使って、動きの感じに合う形や色を考えたり、試しながらつくりたいものを考えたりして、楽しく想像を広げることのできる子ども。 | | | ○割りピンを使って紙を回す仕組みを知り，活動に興味をもつ。  ○つくった仕組みを動かしながら表したいことを考える。  ○思いに合わせて材料や用具を工夫し，表現を深める。  ○動かしながら友人とお互いの作品を見合い，よさや面白さを感じ取る。 | | | 教師：色画用紙，工作用紙，割りピン，画びょう・目打ち（紙に穴を開けるためのもの），カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤 など  児童：ペン，色鉛筆，はさみ，のり など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 割りピンを使って紙を回す仕組みから，思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | 割りピンや色画用紙などを適切に扱うとともに，はさみ，カッターナイフ，接着剤，ペンなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，仕組みを動かして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで割りピンを使って紙を回す仕組みから，思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 外国語活動：作品についてどのような工夫をしたのかなどについて，ショー・アンド・テルの中で伝え合うことなどが考えられる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **立** | p.16-17　**切ってかき出しくっつけて**　　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／粘土で　　２～４ | | | | | | |
| 目標 | 用具を使って粘土を切ったりかき出したりしてできる形の感じを捉えながら，表したい形を見付け，表し方を工夫して立体に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 用具を使うことでできる表現があることに気付き，そのよさを生かしながらつくりだそうとする子ども。 | | | ○用具の基本的な扱いについて知り，使うことに興味をもつ。  ○用具を使ってできることをいろいろと試しながら表したいことを見付ける。  ○できた形を組み合わせたり，手や用具でさらに形を変えたりしながら表現を深める。  ○友人とお互いの作品を見合って，用具の使い方の違いや，表現の面白さを味わう。 | | | 教師・児童：粘土板，雑巾，新聞紙，歯ブラシ など  教師：土粘土，切り糸，かきべら など  児童：粘土べら など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら，思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。 | | 切り糸，かきべらを適切に扱うとともに，粘土についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，粘土を切ったりかき出したりして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら，思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：立体に表す題材だけでなく，工作に表す題材である５・６上p.24-25「使って楽しい焼き物」との関連も深い。様々な用具の体験が，表現をより深めることにつながる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **絵** | p.18-19　**わたしの６月の絵**  感じたこと，想像したこと，見たことから表す／日常生活でかきためたことから表す　　４～６ | | | | | | |
| 目標 | 「６月」を探して見付けたり感じたりしたことを基に，色づくりやいろいろな表し方を楽しみながら，形や色などの感じを捉え，表し方を工夫して，自分の感じた「６月」を絵に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 季節の特徴や変化を全身で感じながら思いを広げ，自分の世界をつくりだそうとする子ども。 | | | 〇「６月」のイメージを話し合う。  〇スケッチブックに，自分の見付けた「６月」を簡単な絵や言葉でかきとめ，ストックしていく。  〇外に出て見付けたもの，感じたことを発表し合う。  〇見付けたもの，感じたこと，想像したことなどからイメージを広げ，工夫して絵に表す。  〇友人とお互いの作品を見合い，感じ方の違いや表し方の工夫を伝え合う。 | | | 教師：画用紙，卵パックなどパレットの代わりになる容器，刷毛，スポンジ，コンテ・パステル，白い紙（スケッチブック用） など  児童：水彩用具一式，色鉛筆，ペン など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| ６月を探したり，見付けた６月の様子から感じたことを表したりするときの感覚や行為を通して，色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 水彩絵の具を適切に扱うとともに，ペンなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，６月を探しながら感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，見付けた６月や，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで学校などで見付けた６月の様子から，感じたことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 道徳：Ｄ「自然愛護」との関連が深い。本題材で感じたことなどを基に，道徳の学習につなげていきたい。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **工** | p.20-21　**ふき上がる風にのせて**　　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる　　２～４ | | | | | | |
| 目標 | 送風機やうちわなどでつくる上向きの風で，ポリ袋やP.E.テープなどを浮き上がらせるなどしながら表したいものを見付け，形や色などの感じを捉えながら，材料や風の使い方を工夫して楽しい動きを表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 見えないものを生かして楽しんだり，予想外の反応にも面白さを感じ取ったりする子ども。 | | | ○送風機やうちわでつくった風で材料を浮かべるなどしながら，表したいことを考える。  ○表したいことに合わせて，材料を組み合わせるなどし，試しながら形をつくる。  ○できた作品を風に乗せながら，お互いの作品のよさや面白さを味わう。 | | | 教師・児童：うちわ，ペン，セロハンテープ など  教師：半透明ポリ袋や傘袋（数種類の大きさの袋），PEテープ，送風機，延長コード など  児童：はさみ など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 吹き上がる風の力で，浮かんだり動いたりするものをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | ポリ袋，PEテープなどを適切に扱うとともに，はさみやセロハンテープなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料が浮いたり動いたりする様子から感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，風に乗せながら自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで吹き上がる風の力で，浮かんだり動いたりするものをつくる学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 理科：Ａ(２）「風とゴムの力の働き」で児童は風の力の大きさと物の動く様子に着目して学習する。理科から本題材につなげるか，本題材から理科につなぐかは学校の指導計画次第である。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **鑑** | p.22-23　**み近なしぜんの形・色**　　身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る | | | | | | |
|  | **～お気に入りの葉～**　　３～５ | | | | | | |
| 目標 | 身近な葉を集めたり，比べたりして，形や色などの感じを捉えながら，自然の造形的なよさや面白さを味わう。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 身近な自然がつくりだす形や色の多様さに気付き，その面白さを感じながら，大切にしたいと思う子ども。 | | | 〇自分が選んだ１枚の葉を葉っぱカードにする。  〇葉っぱカードを並べながら，形や色などについて気付いたことを話し合う。  〇混色していろいろな緑色をつくる。  〇つくった緑色や葉っぱカードを生かして絵に表す。  〇自分の作品や友人の作品を見て，感じたことを伝え合う。 | | | 教師・児童：セロハンテープ  教師：透明なシール，画用紙，デジタルカメラ，モニター など  児童：水彩用具一式，色鉛筆，ペン，はさみ など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 葉を集めて，身近な自然の形や色を見るときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 水彩絵の具を適切に扱うとともに，ペンなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。  ※絵に表す活動でのもの | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，集めた葉やつくった色から感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。  ※絵に表す活動でのもの | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な自然や自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで葉を集めて，身近な自然の形や色の面白さを感じ取る学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | ＥＳＤ：葉の多様な形や色を知ることから，生物の多様性について考えるきっかけとすることが考えられる。  理科：Ｂ（１）「身の回りの生物」との関連が考えられる。  道徳：Ｄ「自然愛護」との関連が深い。本題材で感じたことや気付いたことを基にして学習につなげたい。 | | | | | | |
| **～とっておきの石～**　　２～３ | | | | | | | |
| 目標 | 身近な石を集めたり，比べたりして，形や色などの感じを捉えながら，よさや面白さを味わう。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 身近な自然がつくりだす形や色の多様さに気付き，その面白さを感じながら，大切にしたいと思う子ども。 | | | 〇「とっておき」が，自分にとってどのようなことなのか考える。  〇外に出て，とっておきの石を探す。  〇とっておきの石を探して気付いたことや感じたことを話し合う。  〇集めた石を並べて，改めて形や色の面白さを味わう。 | | | 教師：透明なビニル袋（石を入れておくための袋），画用紙，デジタルカメラ，モニター など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 石を集めて，身近な自然の形や色を見るときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | |  | |  | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な自然の造形的なよさや面白さについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで石を集めて，身近な自然の形や色の面白さを感じ取る学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 道徳：Ｄ「自然愛護」との関連が深い。本題材で感じたことや気付いたことを基にして学習につなげたい。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **絵** | p.24-25　**あの日あの時の気もち**　　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／生活経験から表す　　４～８ | | | | | | |
| 目標 | 生活の中で心に残っていることから表したい様子を思い浮かべ，感じたことや思ったこと，気持ちに合う表し方を考え，形や色などの感じを捉えながら，表し方を工夫して絵に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 形や色を工夫することで，感じたことや思ったこと，気持ちに合う表し方ができることを知り，より深く生活を見つめ，楽しさや喜びを味わおうとする子ども。 | | | 〇生活の中で心に残っている，そのときの感じや，気持ちに合う形や色，表したい様子を思い浮かべる。  〇表したい様子から，感じたことや思ったこと，気持ちに合う表し方を考え，工夫しながら絵に表す。  〇友人とお互いの絵を見ながら，そのときの感じや気持ちが感じられるところを見付け伝え合う。 | | | 教師：画用紙 など  児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，ペン など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 生活の中で心に残ったことを，気持ちを思い出しながら絵に表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 水彩絵の具を適切に扱うとともに，クレヨン・パス，ペンなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，生活の中で感じたこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで生活の中で心に残ったことを，気持ちを思い出しながら絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 道徳：Ｃ「国際理解・国際親善」との関連が深い。紙面にある「外国の友だちの絵」を活用したい。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **立** | p.26-27　**クリスタルアニマル**　　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／様々な材料で　　４～６ | | | | | | |
| 目標 | 光を通す材料の形や色を生かして組み合わせながら表したいことを見付け，形や色などの感じを捉えながら，自分の表したい生き物を表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 形や色を生かしてつくりながら，つくるものに愛着をもち，思いを込めることができる子ども。 | | | ○光を通す材料に触れ，どのような生き物が表せそうか考える。  ○材料に色を塗ったり，光を通したり組み合わせたりしながら，表現を工夫する。  ○よいと思う場所に飾ったり，ＬＥＤライトを当てたりして，作品のよさや面白さを味わう。 | | | 教師・児童：光を通す透明な材料，ペン，セロハンテープ など  教師：色セロハン，両面テープ，化学接着剤，LEDライト，ペットボトルばさみ・万能ばさみ など  児童：はさみ など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 光を通す材料を組み合わせながら，思い付いた生き物を表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | ペットボトルなどの透明な材料，化学接着剤を適切に扱うとともに，はさみやペンなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，透明な材料を組み合わせて感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで光を通す材料を組み合わせながら，思い付いた生き物を表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：３・４下p.38-39「光とかげから生まれる形」との関連が深い。光を通す材料の経験をつなげていきたい。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **絵** | p.28-29　**ペタパタひらくと**　　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　　２～３ | | | | | | |
| 目標 | 段ボール箱の形や色を変化させながら，見え方の面白さに気付いたり表したいことを考えたりし，形や色などの感じを捉えながら，表し方を工夫して協力して表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 協力してお互いの気付きを共有することで，新しいアイデアが思い付くことに面白さを感じながら，つくりだす喜びを味わう子ども。 | | | ○段ボール箱を開いていろいろな立たせ方を試す。  ○開いたり立たせたりした形から思い付いたことを話し合い，協力していろいろな用具を使って表す。  ○模様を付けた段ボールの立て方をさらに試して見え方の変化を楽しむ。 | | | 教師：やや大きめの段ボール箱，段ボールカッター，共用の絵の具，刷毛，スポンジ，ローラー，養生テープ，クリップ など  児童：水彩用具一式 など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 段ボール箱を開いたり立てたりして，思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 水彩絵の具，段ボールを適切に扱うとともに，ローラーやスタンプなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，段ボールを開いたり立てたり，形を写したりして感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで段ボール箱を開いたり立てたりしながら，思い付いたことを友だちと協力して表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 算数：実際に箱を開いてみるなどする本題材は，第4学年Ｂ図形の展開図などにつながるといえる。学習の際に思い出すように声かけなどするとよい。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **造** | p.30-31　**「小さな自分」のお気に入り**　　材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして　　２～４ | | | | | | |
| 目標 | 身の回りにある場所を，「小さな自分」の目で見て，形や色などの感じを捉えながら，どのようにつくりかえるのかを考え，活動を工夫してさらにお気に入りの場所に変える。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 視点を変えることで場所のもつ新たなよさを見付け，思いに合わせてさらによい場所につくりかえていこうとする子ども。 | | | ○「小さな自分」の目線で場所を見て回って，よいと思う場所を探す。  ○選んだ場所でしたいことを考えたり，様子を思い浮かべたりしてポーズをとり写真を撮影する。  ○場所にあるものを生かしながら，場所をつくりかえて，「小さな自分」を飾る。  ○つくりかえた場所を友人と紹介し合い，よさや面白さを味わう。 | | | 教師・児童：セロハンテープ，身辺材 など  教師：色画用紙，デジタルカメラ，ラミネーター，ラミネート用フィルム．カッターナイフ，カッターマット など  児童：ペン，はさみ など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じが分かっている。 | | 場所にある材料，身の回りの材料などを適切に扱うとともに，はさみ，セロハンテープなどについての経験を生かし，組み合わせたり，切ってつないだり，形を変えたりするなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちがつくりかえた場所の造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方について，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで場所の形や色などを生かして，「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：３・４下p.10-11「ここにいたい」，５・６上p.10-11「あんなところがこんなところに見えてきた」との関連が深い。いずれも場所の造形的な特徴や感じを大切にした活動である。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **立** | p.32-33　**くぎうちトントン**　　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で　　２～４ | | | | | | |
| 目標 | 金づちで釘を打つ感触を味わい，いろいろな打ち方を試しながら釘を打ってできる形を見付け，形などの感じを捉えながら，工夫して表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 新しい用具を積極的に使い，用具を生かした表し方を思い付き，それを楽しむ子ども。 | | | ○金づちの扱いや，釘の打ち方などを知り，釘を打つことに興味をもつ。  ○木に釘を打ちながら，できた形を基に表したいことを考える。  ○思いに合わせてさらに釘を打つ。  ○自分たちの作品を紹介し合いながら，よさや面白さについて話し合おう。 | | | 教師：木切れ，板材，金づち，釘，釘抜き，ペンチ　など  児童：水彩用具一式 など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。 | | 金づちや釘，木切れを適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，釘を打ちながら感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで金づちを使って木に釘を打ち，楽しいものを表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：金づちや釘の扱いに慣れることは，この後の工作に表す題材での活動を行う上でも大切なことである。また中学校技術へもつながる。安全で適切な扱いを指導したい。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **絵** | p.36-37　**ひらいて広がるふしぎなせかい**  感じたこと，想像したこと，見たことから表す　想像したことから表す　　４～８ | | | | | | |
| 目標 | 画面を切って開けたりめくったりしながら不思議な世界を想像し，形や色などの感じを捉えながら，表し方を工夫して絵に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 形や色を工夫しながら想像した世界を表すことで，想像する楽しさを味わう子ども。 | | | ○教科書の参考作品などを見て，開いて広がる不思議な世界の面白さに気付く。  ○どのような世界を表したいか，どのようなものや場所が開くと面白いかなど想像を広げながら表したいことを考える。  ○表したいことに合うように，用具の使い方を工夫する。  ○友人と作品を見合い，仕組みを開いて，お互いの想像した世界の面白さを味わう。 | | | 教師：画用紙，色画用紙，カッターナイフ・カッターマット など  児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，ペン，はさみ，のり など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 開くと向こうに広がる不思議な世界を想像して絵に表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 水彩絵の具を適切に扱うとともに，クレヨン・パス，ペン，はさみ，カッターナイフなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，開く仕組みを基に想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，作品を開いたり閉じたりして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで開くと向こうに広がる不思議な世界を想像して絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 外国語活動：表現したことや工夫したことなどをショー・アンド・テルの中で伝え合うことなどが考えられる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **工** | p.38-39　**空きようきのへんしん**　　飾るもの・使えるものをつくる　　４～６ | | | | | | |
| 目標 | 空き容器と紙粘土の組合せ方を工夫し，形や色などの感じを捉えながら，生活の中で楽しく使えるものをつくる。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 自分の発想や考えを基に，身の回りのものを組み合わせながら，生活を豊かに楽しくするものをつくることに喜びを感じる子ども。 | | | ○家で使いたい小物入れなどについて，どのようなものを入れたいか，どこで使いたいかなどを発表し合う。  ○空き容器の形を変えたり組み合わせたりしてつくりたい形を考える。  ○紙粘土を貼り付けるなどして，思いに合わせた小物入れをつくる。  ○実際にものを入れるなどしてよさを味わう。 | | | 教師・児童：空き容器，粘土板，モールやビーズなどの身辺材 など  教師：紙粘土，粘着テープ，竹ぐし，ペットボトルばさみ など  児童：水彩用具一式，粘土べら など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 生活の中で使うものを，空き容器と紙粘土でつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | 空き容器，水彩絵の具などを適切に扱うとともに，紙粘土についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，使う様子を想像したり材料を組み合わせて感じたりしたことから，表したいことを見付け，用途を考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで生活の中で使うものを，空き容器と紙粘土でつくる学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：３・４下p.28-29「おもしろだんボールボックス」や５・６下p.32-33「１まいの板から」など使えるものをつくる題材との関連が深い。使えるものをつくることは児童にとっては大きな喜びの一つである。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **造** | p.40-41　**クミクミックス**　　体全体を働かせながら活動する　　２～４ | | | | | | |
| 目標 | 段ボールの板に切込みを入れて組み合わせることから活動を思い付き，形などの感じを捉えながら，組合せ方を工夫して，新しい形をつくる。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 平面のものでも組み合わせることで立体的なものに変化する面白さを味わい，友だちと協力することで大きいものをつくりだすことができる喜びを感じる子ども。 | | | ○段ボールを段ボールカッターでいろいろな形に切る。  ○切った段ボールに切込みを入れて形を組み合わせる。  ○組み合わせてできた形を見ながら，次に組み合わせたい形や場所を考え，形をつくりかえていく。  ○友人とできた形を紹介し合いながら，お互いのつくった形のよさや面白さを感じ取る。 | | | 教師・児童：段ボール  教師：段ボールカッター | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 段ボールの板を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。 | | 段ボールカッター，段ボールの板を適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，組み合わせたり，切ってつないだり，形を変えたりするなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。 | | 形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，段ボールの板や組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。 | 形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，段ボールの板を組み合わせてできた形の造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方について，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで段ボールの板を組み合わせながら，思い付いたことを工夫してつくる学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：３・４下p.48-49「ようこそ！ゆめのまちへ」との関連が深い。組んで立てる方法は，段ボールの活用に広がりをもたせることができる。また，切込みを入れて組む活動は，５・６上p.20-21「糸のこスイスイ」ともつながる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **絵** | p.42-43　**ことばから形・色**  感じたこと，想像したこと，見たことから表す／物語などから感じたこと，想像したことから表す　　４～８ | | | | | | |
| 目標 | 詩や物語から思い浮かべた様子や雰囲気を基に表したいことを見付け，どのように表すか考え，形や色などの感じを捉えながら表し方を工夫して絵に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 詩や物語など言葉から，いろいろな様子や雰囲気を思い浮かべながら絵に表すことで，さらに想像を広げることを楽しむ子ども。 | | | 〇詩や物語から思い浮かべた様子や感じた雰囲気を話し合う。  〇詩や物語から想像した様子や感じた雰囲気に合う表し方を考え，絵に表す。  〇友人と活動途中の絵を見合いお互いの表し方のよさを見付け，それをヒントにするなどして自分なりに工夫して表す。  〇表した様子や表し方の工夫を味わいながら鑑賞する。 | | | 教師・児童：詩や物語  教師：画用紙，色画用紙 など  児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，ペン など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 詩や物語から想像を広げて絵に表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 水彩絵の具を適切に扱うとともに，クレヨン・パス，ペンなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，詩や物語を読んで感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで詩や物語から想像を広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 国語：国語で読んだ詩や物語を基に活動することもできる。文章を読んで自分なりの考えをまとめたり，思いを広げたりすることは，国語の「〔思考力，判断力，表現力等〕C 読むこと」にもつながる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **工** | p.44-45　**ゴムゴムパワー**　　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる | | | | | | |
|  | **～ゴムゴムでトコトコ～**　　４～６ | | | | | | |
| 目標 | ゴムの力で動く仕組みをつくり，その動きから思い付いたものを，身近な材料を使い，形や色などの感じを捉えながら．表し方を工夫して表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 思い付いたものを動かすために試行錯誤しながら表現するとともに，友人の表現に対しても認めることができる子ども。 | | | ○教科書などを見て動く仕組みを知り，つくる。  ○仕組みを動かしながら，表したいことを考える。  ○思い付いたことに合わせて材料を工夫して使い，表す。  ○友人とお互いの作品を動かして見合いながら，表現の違いや面白さを感じ取る。 | | | 教師・児童：空き容器，空き箱，乾電池 ，ペン，セロハンテープ など  教師：輪ゴム，たこ糸，ゼムクリップ，色画用紙，カラービニルテープ，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤，化学接着剤 など  児童：はさみ，のり など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| ゴムの力で動く仕組みから，思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | ゴム，たこ糸，カッターナイフ，接着剤などを適切に扱うとともに，紙材や描画材，などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，仕組みを動かして感じたことや想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んでゴムの力で動く仕組みから，思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 理科：A（２）「風やゴムの力の働き」との関連が深い。理科で学んだゴムの力を知識として活用し，発想を広げることができる。 | | | | | | |
| **～ゴムゴムでスルスル～**　　４～６ | | | | | | | |
| 目標 | ゴムの力で動く仕組みをつくり，その動きから思い付いたものを，身近な材料を使い，形や色などの感じを捉えながら．表し方を工夫して表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 思い付いたものを動かすために試行錯誤しながら表現するとともに，友人の表現に対しても認めることができる子ども。 | | | ○教科書などを見て動く仕組みを知り，つくる。  ○仕組みを動かしながら，表したいことを考える。  ○思い付いたことに合わせて材料を工夫して使い，表す。  ○友人とお互いの作品を動かして見合いながら，表現の違いや面白さを感じ取る。 | | | 教師・児童：紙コップ，セロハンテープ，ペン など  教師：ストロー，輪ゴム，たこ糸，ゼムクリップ，色画用紙，カラービニルテープ，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤，化学接着剤 など  児童：はさみ，のり など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| ゴムの力で動く仕組みから，思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | ゴム，たこ糸，カッターナイフ，接着剤などを適切に扱うとともに，紙材や描画材などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，仕組みを動かして感じたことや想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んでゴムの力で動く仕組みから，思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 理科：A（２）「風やゴムの力の働き」との関連が深い。理科で学んだゴムの力を知識として活用し，発想を広げることができる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **立** | p.46-47　**ねん土マイタウン**　　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／粘土で　　２～４ | | | | | | |
| 目標 | 住んでみたい町，あったらいいなと思う町の様子を想像し，形などの感じを捉えながら，建物や道などの形や，そのつくり方を工夫して，お互いに見合ったりつなげたりしながら油粘土で町をつくる。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 自分の思いを大切にして，友人と関わりながら，町や未来をつくっていくことを楽しむ子ども。 | | | ○粘土を丸めたり伸ばしたりして面白い形を見付ける。  ○自分が行ってみたり，住んでみたりしたい街や，街にあるものを思い浮かべて発表する。  ○見付けた形や，思い浮かべた様子から表したい街を考える。  ○友人と見合ったりつなげたりしながら，街を広げていく。  ○みんなでつくった街を見合って，よさや面白さを話し合う。 | | | 教師・児童：油粘土，粘土板，雑巾 など  児童：粘土べら など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 住んでみたい町を楽しく想像し，油粘土でつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。 | | 油粘土を適切に扱うとともに，粘土べらなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，住んでみたい町を想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで住んでみたい町を楽しく想像し，油粘土でつくる学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 社会：第３学年での身近な地域についての学習と関連させ，住んでみたい町やそこにある建物を発想するきっかけにすることができる。  道徳：Ｂ「友情，信頼」やＣ「伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度」との関連が深い。町づくりを通して，道徳の学習へとつなげていきたい。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **絵** | p.48-49　**土でかく**　　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　　２～４ | | | | | | |
| 目標 | 土の色や感触を味わいながら，表したいことを見付け，色や形などの感じを捉えながら，表し方を工夫して絵に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 自然の材料に親しみ，その特徴を感じ取りながら新たに発想し，自分なりの表現に結び付けていく子ども。 | | | ○集めた土の色の違いや感じの違いを味わう。  ○土の絵の具をつくって，感触を味わいながら試す。  ○試しながら思い付いたことを表す。  ○色を混ぜたり重ねたりして表現を深める。  ○表したものを見て題名を考える。 | | | 教師・児童：土，雑巾 など  教師：基底材（段ボール・白ボール紙・黄ボール紙・ベニヤ板など），洗濯のり・木工用接着剤，トレー，カップ，刷毛，筆 など  児童：水彩用具一式，汚れてもよい服装　など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 土でつくった絵の具の感じを楽しみながら表すときの感覚や行為を通して，色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 土，木工用接着剤を適切に扱うとともに，共用の絵の具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，土の絵の具に触れて感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで土でつくった絵の具の感じを楽しみながら絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 道徳：Ｄ「自然愛護」「感動，畏敬の念」などとの関連が深い。多様な土の色が生まれる不思議さなどからつなげていきたい。長期的には地学にもつながるだろう。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **工** | p.50-51　**マグネットマジック**　　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる | | | | | | |
|  | **～くっつく力で～**　　４～８ | | | | | | |
| 目標 | 磁石が鉄を引き付けたり，磁石同士で互いに引き合ったりする力を利用して，動かして遊ぶものを考え，形や色などの感じを捉えながら，身近な材料の使い方を工夫して表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 生活や他教科での経験や学習を生かしながら，自分の思いを大切にして新しい価値をつくりだそうとする子ども。 | | | ○板などの向こうにあるクリップなどを磁石で動かしながら，表したいことを考える。  ○材料を組み合わせながら，思いに合うものをつくっていく。  ○動きを試しながらつくりかえたり，つくり足したりして表現を深める。  ○動かしながら友人とお互いの作品のよさや面白さを感じ取る。 | | | 教師・児童：空き箱，身辺材，セロハンテープ など  教師：フェライト磁石（20～30mm径，10mm径のもの），ゼムクリップ，段ボール板，片面波段ボール，色画用紙，折り紙・色紙，割り箸，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤　など  児童：水彩用具一式，ペン，はさみ，のり， など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 磁石を使って楽しく動かすものをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | 段ボール，磁石を適切に扱うとともに，紙材や接着剤，切る用具などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，磁石の仕組みを動かして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで磁石を使って，楽しく動かすものをつくる学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 理科：Ａ（４）「磁石の性質」との関連が深い。本題材の後に理科を学習することも，理科での学習の後に本題材に取り組むことも可能である。 | | | | | | |
| **～しりぞけ合う力で～**　　４～８ | | | | | | | |
| 目標 | 磁石同士の互いに反発し合う力を利用して，動かして遊ぶものを考え，形や色などの感じを捉えながら，身近な材料の使い方を工夫して表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 生活や他教科での経験や学習を生かしながら，自分の思いを大切にして新しい価値をつくりだそうとする子ども。 | | | ○磁石の反発する性質を生かした仕組みをつくり，動く様子から表したいことを考える。  ○材料を組み合わせながら，思いに合うものをつくっていく。  ○動きを試しながらつくりかえたり，つくり足したりして表現を深める。  ○動かしながら友人とお互いの作品のよさや面白さを感じ取る。 | | | 教師・児童：空き箱，身辺材，セロハンテープ など  教師：フェライト磁石（20～30mm径，10mm径のもの），段ボール板，色画用紙，折り紙・色紙，割り箸，たこ糸，ペン，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤　など  児童：水彩用具一式，ペン，はさみ，のり など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 磁石を使って，楽しく動かすものをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | 段ボール，磁石を適切に扱うとともに，紙材や接着剤，切る用具などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，磁石の仕組みを動かして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで磁石を使って，楽しく動かすものをつくる学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 理科：Ａ（４）「磁石の性質」との関連が深い。本題材の後に理科を学習することも，理科での学習の後に本題材に取り組むことも可能である。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **造** | p.52-53　**ひもひもワールド**　　材料や場所を基にして活動する／材料を基にして　　２～３ | | | | | | |
| 目標 | 身近な場所でひもを結んだりつないだりすることから活動を思い付き，ひもを組み合わせたり切ってつないだりするなど活動を工夫して，形や色などの感じを捉えながら，場所の様子を変えることを楽しむ。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 自分たちの活動によって，身近な場所の見え方や感じを変えることに面白さを感じる子ども。 | | | ○広い空間でひもをつないで場所の様子を変える活動に興味をもつ。  ○ひものつなぎ方や結び方を工夫していろいろな場所にひもを結ぶ。  ○友人と協力するなどして，活動を深める。  ○外から見たり，中に入ったりしながら，自分たちがつくったものや変化した場所の様子を味わう。 | | | 教師・児童：毛糸 など  教師：PEテープ，デジタルカメラ など  児童：はさみ など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 身近な場所でひもを結んでつなぐときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | ひもを適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，組み合わせたり，切ってつないだりして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，ひもやひもを結ぶ場所などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，ひもを使ってできた形や場所の様子などの造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで身近な場所でひもを結んでつなぎながら，思い付いたことを試す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：ページは前後するが，使用した材料はp.10-11「カラフルフレンド」の中に入れる材料として使用することもできる。 | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **絵** | p.54-55　**いろいろうつして**　　版に表す　　４～６ | | | | | | |
| 目標 | 材料を組み合わせて版をつくりながら，表したいことを思い付き，形や色などの感じを捉えながら，表し方を工夫して版に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 材料を選んだり，材料や版の組合せを考えたりするなど，試行錯誤を繰り返して，自分の思いを実現しようとする子ども。 | | | ○教科書の参考作品などを見て，材料や写し方，色などを工夫して版に表すことを知る。  ○材料に触れながら表したいことを考え，版をつくり，刷る。  ○刷ったものを見て，さらに刷り足したりかき加えたりして表現を深める。  ○友人とお互いの作品を見合って，よさやいろいろな工夫を伝え合う。 | | | 教師・児童：新聞紙，身辺材 など  教師：版画用紙，版画用具一式，片面波段ボール，木工用接着剤 など  児童：クレヨン・パス．水彩用具一式，はさみ，のり など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 版の材料や形や色，写し方などを工夫して表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。 | | 版画の用具を適切に扱うとともに，はさみ，接着剤，版にする材料などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料を組み合わせて版をつくりながら感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで版の材料や形や色，写し方などを工夫して表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：３・４下p.54-55「ほってすって見つけて」につながる題材である。版に表すことを十分に経験させて，次の題材へとつないでいきたい。 | | | | | | |
| **～はんも生かして～**　　２～４ | | | | | | | |
| 目標 | 材料を組み合わせて版をつくりながら，表したいことを思い付き，形や色などの感じを捉えながら，表し方を工夫して版に表す。 | | | | | | |
| 育てたい子どもの姿 | | | 主な学習内容 | | | 主な材料・用具 | |
| 材料を選んだり，材料や版の組合せを考えたりするなど，試行錯誤を繰り返して，自分の思いを実現しようとする子ども。 | | | ○教科書の参考作品などを見て，紙の半分に版をつくり，半分に刷っていく表現について知る。  ○版をつくって刷る。  ○刷ってできたものを見て，さらに材料を貼って刷り足すなどする。  ○友人とお互いの作品を見合って，よさやいろいろな工夫を伝え合う。 | | | 教師・児童：新聞紙 など  教師：色画用紙，段ボール，片面波段ボール，版画用具一式，木工用接着剤 など  児童；はさみ，のり など | |
| 評価規準の例 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 知識 | | 技能 | | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | |
| 版の材料や形，写し方などを工夫して，版も生かしながら表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。 | | 版画の用具を適切に扱うとともに，はさみ，接着剤，版にする材料などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料を組み合わせて版をつくりながら感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 | 形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。 | | つくりだす喜びを味わい進んで版の材料や形，写し方などを工夫して，版も生かしながら表す学習活動に取り組もうとしている。 |
| 関連 | 他の題材：３・４下p.54-55「ほってすって見つけて」につながる題材である。版に表すことを十分に経験させて，次の題材へとつないでいきたい。 | | | | | | |

３・４年上　特設ページについて

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ページタイトル** | **ページ** | **概　要** |
| 教科書美術館  ～しぜんの色～ | p.２-４ | 「教科書美術館」は，身の回りの造形から美術作品まで幅広く鑑賞の対象を掲載したページである。  「しぜんの色」では，自然の中にあるものや自然を描いた美術作品を，色に基づいて見ることを促している。自分たちの身近にある自然の色に目を向けたり，自然を描くにもいろいろな色の感じがあることを捉えたり，色の感じの違いの面白さなどを感じ取ったりしたことを話し合うなどして，自分たちの表現に生かすことができるようにしたい。 |
| 図画工作をはじめよう  ～ためしたよ 見つけたよ～ | p.５-７ | オリエンテーションのページである。  ここでは，図画工作の学習が３つの資質・能力を育てる時間であり，教科書はそのためのヒントであって，写真やキャプションなどを参考にしながら，主体的に試し工夫し，友人と関わるなどして表現や鑑賞の活動に取り組み，自分の資質・能力を育てていく，ということを伝えている。  実際の題材に取り組む前に本ページを活用しながら，児童とともに，図画工作の目標について話し合う時間などをもつようにしたい。 |
| ひらめきポケット  ～つなげる～ | p.34-35 | 「ひらめきポケット」は，児童の発想を促すための行為とそれに関連する図版を掲載している。児童が表現に向かったり，いろいろな形や色などに気付いたりするためのページである。  「つなげる」では，この時期の児童の実態に合わせて，いろいろな材料や身の回りにあるつながった形や色，つなぐ行為などを紹介し，児童の発想を広げることができるようにしている。 |
| 図画工作のつながり ひろがり  ～みんなとつながる～ | p.56-57 | 「図画工作のつながり ひろがり」は，図画工作で学んだことを生活や社会に生かすことを提案する，「開かれた教育課程」を目指すためのページである。  「みんなとつながる」では，自分たちの活動や作品を保護者や地域の人に見てもらう様子や，いろいろな人とともに造形活動に取り組む様子を紹介している。本ページを通して，保護者や地域の人たちに自分たちの学びについて知ってほしいという児童の思いを高めるようにしたい。 |
| 使ってみよう材料と用具 | p.58-65 | 教科書で取り扱う様々な材料や用具について，安全で適切な取扱いができるように示しているページである。 単に技能の習得として活用するだけでなく，いろいろな材料や用具自体も一つの鑑賞の対象として見ていくことができるような図版も掲載している。  また簡単な問いかけなどを設定するなど，材料や用具を使って表現することへの意欲を高めるコーナーも設定してある。活用にあたっては，特に安全に配慮する必要があるような用具については一斉指導をする，そうでないものについては適宜参照するなど，実態に応じて使い分けるようにしたい。 |